



巻頭特別企画

東京ヴェルディ監督インタビュー ミゲル・アンヘル・ロティーナ 「1日1日の成長の先に良い結果がある」

TFA Pick Up

サッカーファミリータウンミーティング

TOKYO TEAM REPORT

東京消防庁（東京都自治体連盟）

UNION NEWS

連盟ニュース

MATCH REPORT

第48回関東大学サッカー大会

第5回東京都女子ユースフットサルフェスティバル

第96回全国高校サッカー選手権大会

第4回東アジアシニアサッカー大会

私たちは 東京都サッカー協会を 応援しています。

嬬恋鎌原立野メガソーラー発電所

【本事業における取得許認可】
経済産業省 設備認定通知
(25関エネ再設第2995号)
認定日 平成25年11月18日
発電出力 1,950kW (約600世帯相当)
林地開発行為許可
(群馬県指令吾環森第30268-4号)
許可日 平成26年8月12日
対象面積 3.2080ha
取得名義：株式会社スカイ・ランド
(日本水資源開発株式会社関連会社)

人を潤し自然を守る
ECO UP PROJECT

 日本水資源開発株式会社

代表取締役 松永 利明

《東京営業所》

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町30-4 渋谷アジアマンション604

TEL 03-3477-2477 FAX 03-3477-7661

<http://www.yuusui-no-mori.com/>

サッカーファミリー タウンミーティング

150名が参加して活発な意見を交わす

東京都サッカー協会は2018年1月12日（金）、日本サッカー協会とともに「サッカーファミリータウンミーティング」を開催した。都内のクラブチームや各種連盟、協会、自治体などの関係者を始めとする約150名のサッカーファミリーが参加して、様々な議題について活発な意見を交わした。

東京都サッカー協会（東京FA）は1月12日（金）、日本サッカー協会（JFA）と協働して、サッカーファミリータウンミーティングを開催。JFAが先導する形で、47都道府県サッカー協会と一緒に開催する形で、取り組んできたこのサッカーファミリータウンミーティングは、2016年9月の兵庫県から始まり、今回で41回目の開催となった。会場のJFAハウス・ヴァーチャルスタジアムには、東京ヴェルディやFC東京、FC町田ゼルビアといったJクラブや地域のクラブチーム、東京都の各種連盟、区市町村サッカー協会連盟、自治体、メディアなどの関係者が約150人参加した。

このミーティングは、JFAの活動を理解してもらうと同時に、監督やコーチ、選手、サポーター、メディアなどサッカーファミリーがみんなで意見を交換しながら「開かれた協会」「組織の透明性」を強化していくことを目的に始まったもの。最初に

東京FAの上野二一会長が挨拶した後、JFAの田嶋幸三会長が登場して、21年に設立100周年を迎えるJFAの歩みや世界における日本サッカーの現在地、障がい者サッカーの取り組みなどが映像と合わせて紹介された。

現在、東京都には2277チーム、9万3800人の選手登録があり、フットサルや審判・指導者を加えた約12万人のサッカーファミリーを抱えている。これは全国で最大規模の数字だが、一方で施設不足などの問題もある。上野会長は「フットボールセンターを増やすと同時に、スタジアムの建設も進めたい。サッカーをする、観る、支える、そして育成。すべてに関わるのが協会です。みなさんの力をぜひ貸してください。議論を活発にすることで、インフラを整備して、施設を増やしていく機運を高めていきたいです」と話した。こうした施設不足の現状はJFAとしても把握してい



1月12日、JFAハウス・ヴァーチャルスタジアムで開催された

るため、田嶋会長は、各協会の自立・発展の支援とともに、それぞれの財政状況を踏まえたインフラ整備のサポートも行っていく意向を示した。

田嶋会長は、それと同時に「魅力ある代表チームを作っていくのがもう一つの使命」と述べた。「それは『強い代表チーム』と言い換えることができます。もし日本代表がワールドカップに出られなかったら、JFAの予算は大きく下回ります。W杯に出場し続けないといけないというのは、そういうことを意味します」。田嶋会長はこの話に付随して、20年の東京オリンピック世代の代表や、その下のカテゴリーの代表、女子、フットサル、ビーチサッカーそれぞれの代表を強化し、選手を育成していくことの必要性を強調。そしてそのためには「育成日本復活」が不可欠であり、それなしには将来の代表にはつながりません」と話した。

その後も、世界基準に達していない日本サッカーの現状や、今後どのように「戦う日本」を築いていくか、またどうサポートしていくのかといった話題が続き、そして参加者との意見交換へと移った。事前に寄せられていた質問を含めて、部活動とクラブチームにおける実力格差や、育成年代における「シーズン」の考え方、受験によってサッカーを離れていく子供たちの現状、女子サッカーの今後の方向性、障がい者サッカーの現状など、様々なテーマに関する活発な意見や質問が飛び交っていた。

3月4日の大阪府での開催をもって、47都道府県すべてのサッカーファミリータウンミーティングが終了する。各地域で交わされた意見交換を踏まえて、各協会がJFAとの協力関係の中でどんな取り組みへと発展させていくのか。東京FAとしても、東京都のサッカーの現状と課題が見え、有意義な集まりとなった。

議題に挙げた主な意見・質問など

・小学生世代で他のスポーツ・競技を行うことの重要性

- ・部活動とクラブチームの実力格差
- ・育成年代における「シーズン」のあり方
- ・土曜日の授業、学校行事が多いなかでのリーグ戦の開催について
- ・リーグ戦の結果と全日本少年サッカー大会の関連付け
- ・中学受験でサッカーをやめしてしまう問題について
- ・選手証の電子化による効果について
- ・女子サッカーについての今後の方向性について
- ・普及の観点からみた「世界基準」の取り組みについて
- ・サッカーを始めるきっかけづくりとしての取り組みについて
- ・障がい者サッカーにおける現状について
- ・教員のサッカー指導のサポートなど

——現在の4種登録の減少は少子化など仕方ない面もありますが、区の体育協会幹事などをしていけると、野球や水泳、武道ですごく優秀なお子さんを見ることが出来ます。サッカーだけではなく、他のスポーツに触れる機会を持てることも重要なのではないのでしょうか？

田嶋会長 私も小学生の頃は、夏はソフトボールと水泳、冬はサッカーをしてきましたので同感です。ただ、タウンミーティングで回ってきた中では「低学年までにつかまえておかないと、4年生で登録するところまでこない」という意見もありました。私は、好きな競技をしてもらって構わないと思っています。保育園や幼稚園に巡回指導に行く目的は、小さい頃から体を動かす喜びや、集団で何かをする

ことの楽しさを伝えることです。そういう子供たちが将来、野球やバスケットボールなどで活躍してくれたら嬉しいと思いますし、サッカーをしてくれたらもちろん、すごく嬉しい。ですから、低学年の時は登録費を取らずに参加できるシステムにできないだろうかということも含めて、登録の仕組み全般を見直したいと考えています。選手登録、審判登録、指導者登録と複数のカテゴリーで登録している人の登録費の割り引き、また、4種登録となった12歳以下の女子選手が、女子チームにも入れるようにするとか、あるいは高校3年生が夏で引退した後に、地元の社会人チームに登録できるようにするとか、そうした様々な点を考えて改革していきたいと思っています。



「みなさんの力をぜひ貸してください」と話した東京FA上野二一三会長



JFAの田嶋幸三会長が登場。日本サッカーの歩みや取り組みを紹介した



田嶋会長は「将来の日本のために「育成日本復活」が不可欠」と訴えた



参加者との意見交換では、様々な立場のサッカー関係者から質問や意見が寄せられた

「競争」と「判断」には
改善すべき点がある

——2017シーズン、ロティーナ監督が日本に
来られたことはスペインでも大きな話題になりま
した。なぜ、新たな戦いの場として日本を選んだ
のでしょうか？

日本にはもともと興味を持っていました。日
本のサッカーはともにも成長していると感じて
いましたし、チャンスがあれば行ってみたいとい
思っていたのです。東京ヴェルディが興味を持っ
てくれていると知った時は、とてもうれしかっ
たですね。1年が経ちましたが、日本に来るこ
とを判断して本当に良かったと感じています。

——1シーズンを戦ってみて、日本サッカーにどん
な印象を持ちましたか。

まずテクニク面、フィジカル面について
は、とても優れていると思います。大学や高校
のカテゴリーも何試合か見たのですが、能力の
高い選手ばかりです。ただし、改善すべきだと
感じたのは、試合数の少なさと、判断する部分
です。そこを若い年代から鍛えていけば、より
高いレベルに行くことができるでしょう。

——徳島ヴォルティスのリカルド・ロドリゲス監
督、ジェフユナイテッド千葉のファン・エスナイデ
ル監督など、Jリーグにもスペイン人指導者が増え
つつあります。

日本だけでなく、世界各地でスペイン人指導

者が活躍しています。イングランドのプレミア
リーグでも、監督のみならず、第2監督をスベ
イン人が務めていることが多い。スペイン人指
導者が世界中で高く評価されているのは、とて
も誇らしく思っています。

——スペインのサッカー理論とはどのようなもの
なのでしょうか。

20年以上前から南米のブラジル、アルゼンチ
ン、ウルグアイ、ヨーロッパのオランダ、イタリ
ア、ドイツなどから外国人指導者がやってきて、
スペインに多くのものをもたらしてくれました。
スペインの指導理論というのは、そうした
国外の指導者からのアイデアやメソッドが融合
したことによってできたものです。

©TOKYO VERDY



2018シーズンはJ1昇格が期待される

東京ヴェルディ 監督

ミゲル・アンヘル・ロティーナ

Miguel Ángel Lotina

「1日1日の成長の先に 良い結果がある」

2017シーズン、J1 昇格まであと一步に迫った東京ヴェルディ。
前年度のJ2で22チーム中18位だったチームを大躍進させた当の本人が、
ミゲル・アンヘル・ロティーナ監督だ。
数々のクラブを歴任してきたスペイン人指揮官は、
どのようなサッカー哲学を持っているのか。

(インタビューは1月22日に行われた)

サッカー選手に必要なのは 「質の高い練習」であって 「量の多い練習」ではない。



——ヴェルディは前身の読売クラブの時代から、ブラジルの個人技を主体としたサッカーをするイメージがあります。しかし、ロティーナ監督の就任後は、それぞれの選手たちが、よりシンプルに、組織的にプレーするようになった印象があります。

サッカーのカギというのは、選手たちが状況によってでいかに同じようなイメージを描き、コンビネーションできるかにあると思っています。個人の能力が重要なのは当然です。ただし、サッカーというのはチームで戦うスポーツで、テニスのような個人競技ではありません。だからこそ、チームとしてどのように戦うのかを、しっかりと組み立てることが必要です。

質の高い練習をすれば 良い結果を得られる

——昨シーズンはレギュラーシーズンで5位。東京ヴェルディとして初めてJ1昇格プレーオフに出場しました。残念ながらJ1昇格はなりませんでしたが、ロティーナ監督は昨シーズンをどのようにとらえていますか？

基本的には良いシーズンだったと思っています。選手たちは昨年1年間を通じて、自分たちには上位に食い込める力があると感じたでしょうし、そのことは新しいシーズンに良い影響をもたらすはずです。また、ファン・サポートの方、私たちのチームが確実に良くなっていることを感じてもらえたのではないのでしょうか。

——昨シーズンまでヴェルディでプレーしていた選手の何人かがJ1クラブへ移籍しましたが、残ってほしかった気持ちはありますか？

もちろん、残ってほしかったという気持ちはあります。優秀な選手がいることを喜ばない監督などいませんから。ただ、ヴェルディでの活躍が認められて、上のカテゴリーのチームに移籍していくことは喜ばしいことです。J1の強豪クラブに行く、日本代表に選ばれる——ヴェ

ルディ出身の選手たちがそうやって飛躍していけば、クラブの価値も上がります。

——東京は日本の首都で、スペインに例えるならマドリードのような大都市です。どうすれば、この東京から世界で活躍する選手が出てくるのでしょうか。

先ほども言ったように、東京には可能性のある選手がたくさんいます。そうした選手たちにとって大事なものは、質の高い練習をすることです。サッカーがうまくなるために必要なのは、「質の高い練習」であって「量の多い練習」ではありません。

——質の高い練習とは、どのようなものでしょうか。

明確な目的を持って、技術と戦術を伸ばすトレーニングです。フィジカルやメンタルを伸ばすことも必要ですが、あくまでもそれは技術と戦術を支えるためのものだと思います。

——2018シーズンの目標は何でしょうか。

私が掲げる目標は変わりません。1日1日、成長すること。昨シーズンも成長しましたが、さらに成長していきたいと思っています。より良いオフエンス、より良いディフェンスをする。そうすれば良い結果を得られるはずです。

——J1昇格という結果を目標にするというよりも、あくまでも、良いプレーをした先に良い結果があるという考え方がいいのでしょうか。

その通りです。今シーズンは毎日のトレーニングにより重要性を置いて、より高い要求をして成長していきたいと思っています。

——東京でサッカーに関わる人へメッセージをいただけますか。

大切なのは、明確な目標を持って、質の高いトレーニングを日々続けていくこと。そして、チームのレベルによって、ちよつとずつ目標設定を高くしていくことです。選手にも、指導者にも、同じことがいえます。1日で全てが変わることなどないのですから。

——ありがとうございます。2018シーズンのヴェルディに期待しています。

PROFILE

ミゲル・アンヘル・ロティーナ

1957年6月18日生まれ、スペイン出身。現役時代はFWでプレー。国内の数々のクラブを渡り歩き、指揮を執ってきた。1999年から率いたオサスナでは、就任1年目に1部昇格を達成。2002年にはセルタの監督に就任し、02-03シーズンのリーガ・エスパニョーラを4位で終えてUEFAチャンピオンズリーグ（CL）出場権を獲得。翌シーズンのCLではベスト16進出を果たした。04年からはエスパニョールやレアル・ソシエダ、デポルティーボ、ビジャレアルとスペイン国内クラブの指揮官を歴任。14年以降はキプロスのオモニア・ニコシアやカタールのアル・シャハニアでも指揮を執った。17年より東京ヴェルディの監督に就任。

東京ヴェルディの過去5シーズンの成績

		順位	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	監督
2012	J2	7	66	20	6	16	65	46	19	川勝良一
2013	J2	13	56	14	14	14	52	58	-6	三浦泰年
2014	J2	20	42	9	15	18	31	48	-17	三浦泰年→富樫剛一
2015	J2	8	58	16	10	16	43	41	2	富樫剛一
2016	J2	18	43	10	13	19	43	61	-18	富樫剛一
2017	J2	5	70	20	10	12	64	49	15	ロティーナ

試合結果

【昇格決定戦】

国際武道大学 2-3 立教大学
(延長1-2)

関東学院大学 1-0 明治学院大学

【予選リーグ】

Aブロック	Bブロック
1位 国際武道大学	1位 関東学院大学
2位 明治学院大学	2位 立教大学
3位 作新学院大学	3位 平成国際大学
4位 東京経済大学	4位 大東文化大学

立教大学が40年ぶりの関東昇格を決める 第50回関東大学サッカー大会 昇格決定戦

2017年11月19日に行われた第50回関東大学サッカー大会の昇格決定戦では、東京都の立教大学が国際武道大学（千葉県）を3-2で下して来季からの関東2部リーグ昇格を決めた。明治学院大学は関東学院大学（神奈川県）に0-1で敗れてあと一步のところで涙を飲んだ。

主催：一般社団法人関東サッカー協会、一般社団法人関東大学サッカー連盟

主管：一般社団法人神奈川県サッカー協会、神奈川大学サッカー連盟

日時：2017年11月19日

会場：神奈川県・県立保土ヶ谷公園サッカー場

立教大学が40年ぶりの 関東昇格を果たす



3-2で国際武道大学を下した立教大学が関東2部昇格を果たす

立教大学と国際武道大学の昇格決定戦は、延長戦にもつれ込む大熱戦となった。先制したのは白のユニフォーム、立教大学。前半2分に黒田智史のコーナーキックから井浦智史がヘディングでゴールネットを揺らす。

そこからスコアが動かないまま、立教大学の1点リードで迎えた後半のアディショナルタイム。国際武道大学はラストワンプレーでゴール前にロングボールを放り込む。これをコーナーキックで上がっていたGKが合わせて、土壇場で同点に追いつく。

「長いことサッカーをやってきたけど、GKにゴールを決められたのは初めて」

FC東京でトップチームを率いるなど、豊富な経験を持つ立教大学の倉又寿男監督でさえ驚いた、奇跡的なゴールによって試合は振り出しに戻った。

延長前半9分、同点ゴールの勢いのままに先手を取ったのは国際武道大学。勝利をつかみかけながらGKに決められて、延長戦で逆転される。一気に崩れてもおかしくなかった立教大学だったが、そうはならなかった。

失点から2分後、黒田のフリーキックから井上瑠寧がつなぐと、最後は小倉健史が執念で押

し込み、同点に追いつく。そして延長後半10分、左サイドを突破した宮城良壽がグラウンダーのクロス。ファーサイドで待っていた2年生FWの佐藤大雅が右足を振り抜くと、ゴールネットが揺れた。3-2。肉体的にも精神的にもタフな試合を制したのは、立教大学だった。

倉又体制になって3年目となる今季は150人の部員が一つの方向になることを目指してきた。キャプテンの関根陸と、主務の江野優真の2人が中心となってルールを作ってチーム内の規律を徹底した。倉又監督は前期を終えた後にAチームを44人に増やし、どんどんレギュラーを入れ替えることで競争意識を保った。チームとしての意識改革が立教大学の40年ぶりとなる関東リーグ昇格に結びついた。



前半2分に井浦智史が先制ゴールを決めた



延長後半10分、途中出場の佐藤大雅が決勝点

1点が遠かった 明治学院大学

関東2部リーグへの最後の切符をかけた戦いは、明治学院大学と関東学院大学によって行われた。明治学院大学は1961年に創部すると、79年に初めて関東リーグ2部に昇格を果たした。関東大学サッカー選手権でも70年、88年と2回の優勝を誇る。近年は大学の強化指定クラブとなったことで、元Jリーガーの鈴木修人監督を招聘し、人工芝グラウンドを作るなど、環境を整備。2016年には天皇杯東京都予選（東京都サッカートーナメント）の決勝に、関東リーグのチームに3連勝して勝ち上がった。早稲田大学に敗れて本大会出場こそならなかった



明治学院大学はボールを支配しながらも1点が遠かった



3年ぶりの関東リーグ昇格を目指したが……
決定的なシュートを放ったFW鳥谷部高也

後がなくなった明治学院大学は、センターバックの高橋龍世、中川大介を前線に上げてバウンスプレー。何度も惜しいチャンスを作るものの、5バックにシステムを変更した関東学院大学の守りに阻まれて、ゴールネットを揺らすことができません。0-1で敗れて関東昇格は逃した。「選手は頑張ってくれたので、悔いはありません。来年も東京都リーグですが、質の高い練習をして、ここに帰ってきたい」（鈴木監督）

この日のピッチで明治学院大学が見せたアグレッシブな戦いは必ず次につながるはずだ。



“ガールズファースト”のイベントに

SHIBUYA109 GIRLS FUTSAL CUP 第5回東京都女子ユースフットサルフェスティバル

「第5回東京都女子ユースフェスティバル」が1月28日、東京都・エスフォルタアリーナ八王子で開催された。今大会は株式会社 SHIBUYA109 エンタテインメントの協賛大会となり、華やかな装飾やオリジナルの大会グッズなど新しい試みが行われた。

主催：公益財団法人東京都サッカー協会

主管：東京都女子ユースフットサルフェスティバル実行委員会

協賛：株式会社 SHIBUYA109 エンタテインメント

日時：2018年1月28日

会場：東京都・エスフォルタアリーナ八王子



コラボレーションで 生まれたお祭り感

体育館の扉を開けると、ノリの良い音楽が聞こえ、ピンクの鮮やかなバナーが目飛び込んでくる。

1月28日、数日前に降った大雪がまだ残る中、エスフォルタアリーナ八王子で「第5回東京都女子ユースフットサルフェスティバル」が開催された。女子中・高生（U-15/U-18）ならサッカー登録、フットサル登録、さらにはエンジョイプレイヤー登録でも参加できる、フットサルの入り口となっている大会だ。

今大会にはファッションビルの大谷109を運営する株式会社SHIBUYA109エンタテインメントが協賛。なぜSHIBUYA109と東京都サッカー協会がタッグを組んだのか。第1回から関わっているフットサル担当の角脇拓也事務局員が明かす。

「チーム数がある程度固定されてきたのと、10チーム前後と伸びていなかったのも、もともとフェスティバル感を出していたほうがいいのではないかと思ったんです。そこでタイミングよくSHIBUYA109さんと出会うことができました。協賛大会としてやってみませんか」と

SHIBUYA109エンタテインメント木村知郎社長は、自らも学生時代にサッカーをやっていた。世田谷少年サッカー連盟の役員を務めている。そうした縁もあって協賛が決まった。



優勝：十文字中学校



準優勝：錦城高等学校K

SHIBUYA109からお願いされたのは、「運営のところに間を空けてほしい」というものだった。

どんな会場の雰囲気にするのか、優勝商品は何を意図するのか、どうすれば喜んでもらえるのか。SHIBUYA109の社員たちが話し合いを重ねて、大会運営のノウハウを持っている東京都協会と協力しながら、一つ一つ作り上げていった。通常の大会とは異なる華やいだ雰囲気は、若者に向けた流行を発信し続ける企業らしいものだ。

フェスティバルなので、全日本女子ユース（U-15）フットサル大会で日本一になった十文字中学校のような強豪もあれば、楽しくボールを蹴りたいというチームまで、レベルはさまざま。

ただ、全てのチームに共通しているのは笑顔の多さだ。試合中は真剣な表情をしている女の子たちが、ピッチを離れたところでは、中学生・高校生らしく、仲間との時間を楽しく過ごす姿が印象的だった。

順位決定戦の前にはSHIBUYA109の「非公認キャラ」である#限界うさぎが登場してのPK対決など、参加者たちを楽しませるエンタテインメント要素がふんだんに盛り込まれた。優勝したチームも、1勝もできなかったチームも、すべての参加者がフットサルを楽しむ笑顔が溢れる会場の雰囲気は、フェスティバル（お祭り）という言葉にふさわしいものだった。



3位：FC町田ボニータ



3位：FC駒沢女子

「たくさんの笑顔が 生まれるように」



【協賛社】
株式会社 SHIBUYA109 エンタテインメント
木村知郎代表取締役社長

SHIBUYA109は来年で40周年を迎えます。昨年、「SHIBUYA109エンタテインメント」という会社を立ち上げ、今までも、そしてこれからも新しい世代の夢を叶えていくブランドであり続けたいという思いで、「Making You SHINE!」という理念を掲げました。社員にも同じ思いを持ってもらうために、何か良いきっかけがないかと考えていた際、私自身も世田谷少年サッカー連盟に関わっていて、そのつながりからお話をいただきました。

ある女子チームの関係者から、女子サッカーの裾野が狭まりつつあるという話を聞きました。小学校までは4種競技として男女が一緒に取り組めますが、中学校になると体格的な違いからサッカーをやめてしまう女の子が本場に多い。私たちにできるのはほんの僅かですが、SHIBUYA109が女子サッカー・フットサルに関わることで、少しでも裾野を拡げる協力ができたらと考えています。

今日は試合中の真剣な表情と、試合と試合の合間のリラックスした表情、どちらも見られて本当にうれしかったです。さまざまな立場で関わった社員たちも新しい発見があったはず。来年はもっともっと、たくさんの笑顔が生まれる大会にできたらと思っています。

INTERVIEW

東京勢はともに初戦敗退

第96回全国高校サッカー選手権大会

本大会出場チーム紹介

2017年12月30日から2018年1月8日まで行われた「第96回全国高校サッカー選手権大会」。
東京都代表として出場した関東第一高校と実践学園高校の戦いぶりを振り返っていく。

主催：公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人全国高等学校体育連盟、民間放送43社

主管：公益財団法人東京都サッカー協会、東京都高等学校体育連盟、一般社団法人神奈川県サッカー協会、神奈川県高等学校体育連盟、公益財団法人埼玉県サッカー協会、埼玉県高等学校体育連盟、公益社団法人千葉県サッカー協会、千葉県高等学校体育連盟

日時：2017年12月30日～2018年1月8日

会場：東京都・駒沢陸上競技場ほか

関東第一高校

(2年連続2回目)



前半までは 関東第一ペースだったけど……

「スタンドに入った瞬間、黄色の旗を振ってくれる人がいて、周りを見渡せば空席がないくらい満員だった。地元で勝つ気でいたので残念です」

試合後、関東第一高校のキャプテン・小野凌弥は悔しそうに振り返った。初出場だった前回大会に続いて、2年連続でオープニングマッチに登場した関東第一高校。駒沢陸上競技場のスタンドを埋めた12195人の観客が見守る中、キックオフの笛が鳴った。

前半17分、最初のチャンスが訪れる。ペナルティエリアの右角で村井柊斗がヒールで落とし、これを篠原友哉がシュート。23分には、ショートコーナーからゴール前でセンターバックの小野凌弥が合わせる。34分には、ボランチの小関陽星が相手のパスを高い位置でカットをして、そのままフィニッシュに持ち込む。だが、どのシュートも佐賀東GKに止められてしまう。

前半のシュート数は関東第一6本に対して、佐賀東は3本。佐賀東の浦原昌昭監督が「ちょっと距離感が遠かったらポコポコにやられてしまうんじゃないかと思っていた」と語ったように、前半までは関東第一の方が優位に運んでいた。

東京都大会 (Aブロック)

2回戦	東京実業	2-1
準々決勝	都立東大和南	2-0
準決勝	東京朝鮮	4-3
決勝	成立学園	1-0

全国大会

1回戦	佐賀東	0-2
-----	-----	-----

試合の流れを変えたい佐賀東は、後半の頭からキャプテンの江頭弘太を投入。「江頭くんがいることはわかっていた」と小野貴裕監督も言うように、佐賀東予選の決勝戦では途中出場で決勝ゴールを決めるなど5試合5得点を挙げたスーパーサブだ。この交代によって試合の流れは一変する。

後半6分、佐賀東は右サイドで3人が絡んだ崩しからクロスを上げると、ゴール前で中里知己が合わせた。勝負の行方を大きく左右する、大会初ゴールを決めたのは、苦しい前半を耐え抜いた佐賀東だった。

攻めながらも 点が取れず

ゴールが必要になった関東第一だったが、ここでアクシデントが起こる。後半15分にFWの重田快が頭を強打して交代を余儀なくされたのだ。東京都予選で決勝ゴールを決めた「攻撃の起点」を大事な時間で失った影響は計り知れない。

小野監督はボランチの小関を攻撃的MFのポジションに上げ、4-4-2にシステムを変えるなど状況の打開を図る。だが、後半24分、佐賀東にコーナーキックから2点目を決められてしまう。クリアしたボールのこぼれ球を、ペナルティエリアの外から蹴り込まれたものだった。

INTERVIEW



関東第一高校
監督
小野貴裕

2年連続開幕戦を戦えるということで、素晴らしい環境の中で堂々とやっている佐賀東の選手と、我々の選手たちを見ていて率直によく頑張っていると感じました。わかっている、なかなかいつも通りには戦えない中、精一杯頑張ってくれました。我々もよくやっていたんですが、佐賀東のほうが大事なところでチームとして機能していたのかなと思います。

「来年は自分たちの代なので、大事なところで決める力をつけたいです」
2年生MF小関は言った。次に向けた戦いは、この日からもう始まっている。

「早いうちに1点を返せばチャンスはあったのでいけるかなと思ったんですが……。1点がずっと遠かった。攻めていたんですけど、今年のうちの課題が最後まで残ってしまった」(小野凌弥)

低い位置からパスをつないで攻撃を組み立て、流動的にポジションチェンジをしながらチャンスをつくる。見ている人も、やっている人も、楽しいサッカー。それが関東第一のスタイルだ。だが、今年はチームとして積み上げてきたスタイルを、ゴールにつなげられなかった。



重田快は切れ味鋭いドリブルで何度も仕掛けたが……



2年生MFの小関陽星は高い技術で存在感を放った



TOPICS

全国大会における東京都チームの活躍を紹介します。

優勝・日テレ・ベレーザ

第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会

女子サッカーの日本一を決める「第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会」の決勝が、2017年12月24日に大阪・ヤマスタジアム長居で行われた。決勝に勝ち上がったのは日テレ・ベレーザとフジマテラ神奈川。6分、田中美南のルーブシュートで日テレ・ベレーザが先制すると、24分には阪口夢穂が追加点を挙げる。74分には、田中がこの日2点目となるゴールを冷静に沈めて3-0。90分を通して危ない試合運びを見せた日テレ・ベレーザが3大会ぶり12度目の優勝を飾った。

優勝・早稲田大学

第26回全日本大学女子サッカー選手権大会

1月14日に味の素フィールド西が丘で開催された「第26回全日本大学女子サッカー選手権大会」の決勝戦。史上2校目となる3連覇を目指す早稲田大学は神奈川大学と日本一を争った。立ち上がりから積極的なシュートを放った早稲田大学にゴールが生まれたのは20分、クロスに河野朱里が合わせると、最後は中村みづきが押し込んだ。後半に入っても運動量と集中力が落ちない早稲田大学が優勢に試合を運び、1-0のままタイムアップ。3年連続6度目の優勝を達成した。

優勝・FC東京U-18

高円宮杯U-18サッカーリーグ2017チャンピオンシップ

U-18年代の男子チーム日本一決定戦の「高円宮杯U-18サッカーリーグ2017チャンピオンシップ」の決勝が2017年12月17日、埼玉スタジアム2002で開催された。プレミアリーグEAST王者のFC東京U-18と、WEST王者のヴィッセル神戸U-18のカードは前後半で2点ずつを取り合う激しい試合となった。前後半10分ずつの延長に突入すると、前半終了間際、コーナーキックからFC東京U-18の長谷川光基が合わせて勝ち越し。このリードを守ったFC東京U-18が大会初優勝を果たした。

優勝・十文字中学校

第8回全日本女子ユースU-15フットサル大会

愛知スカイホール豊田で2日間にわたって開催された「第8回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会」の決勝に勝ち上がった東京の十文字中学校は、秋田L.F.C.ユース(秋田県)との優勝をかけて2戦に臨んだ。立ち上がりから積極的に攻めた十文字中学校はキックオフから1分以内で2ゴールを挙げ、試合の主導権を握ると、その後も攻撃の手を緩めず4点を追加。6-0で勝利してU-15年代の女子フットサル日本一に輝いた。

実践学園高校

(5年ぶり3回目)



立ち上がりで喫した2失点

5年ぶり3回目の全国高校サッカー選手権出場を果たした実践学園高校。東京都予選では4試合中3試合で1点差、準決勝、決勝は延長戦というタフな試合を制して頂点に立った。

チームを率いる深町公一監督は都立小平高校でFWとしてプレー。大学ではセバタクローに転向し、日本代表としてアジア大会にも出場した、異色の経歴の持ち主だ。引退後に実践学園高校の教員になると、同好会だったチームを東京の強豪に育て上げた。2012年度大会では、開幕戦で愛媛県の済美高校を破って初出場・初勝利を挙げた。

キャプテンの尾前祥奈が組み合わせ抽選会で引き当てたのは、全国高校選手権で4強に3回入ったことのある高校サッカーの名門・滝川第二高校だった。

駒沢陸上競技場のスタンドでは実践学園高校のプラスバンドとチアリーダーによる応援が背中を押し、巨大なユニフォームも広げられた。しかし、ホームと表現したくなるような最高の雰囲気は、長くは続かなかった。パワーを前面に押し出してくる滝川第二の前に、立ち上がりから防戦一方になってしまったからだ。

東京都大会 (Bブロック)

2回戦	大成	1-0
準々決勝	日大豊山	4-0
準決勝	帝京	2-1
決勝	國學院久我山	1-0

全国大会

1回戦	滝川第二	0-2
-----	------	-----

「自分たちの苦手なタイプのチームで、そこに対応しきれなかった」(尾前)

滝川第二のプレススタイルはリスクをかけずに長いボールを前線に入れて、そのこぼれ球を拾って仕掛けてくるというもの。もちろん、そういうサッカーをしていくことはわかっていて。ただ、実際のピッチで対峙してみると、一人ひとりのスピードやパワーは想像以上だった。

悔しかったけど楽しかった

前半12分、クロスボールのこぼれ球から強烈なミドルシュートを決められて先制を許す。その6分後には、ロングボールからFWに抜け出されて2失点目。堅守を武器に勝ち上がった実践学園高校だったが、わずか18分で2点のビハインドを背負うことになった。

深町監督は前半の途中にセンターバックの尾前と、ボランチの人見隼斗のポジションを入れ替える。組み立ての技術が高い尾前がボランチになってからパスが回り始め、実践学園は何度かチャンスを作った。それでも、滝川第二の堅い守備を打ち破ることはできず、0-2のままタイムアップ。

「15分、20分で耐えることができなかったのが今日の敗因かな。そこで耐えられれば勝機があったのかなと思います」(深町監督)



主将の尾前祥奈は気迫溢れる守備で味方を鼓舞し続けた



左足の正確なキックから何度もチャンスを作った山内稔之

INTERVIEW



実践学園高校
監督
深町公一

こちらとしては0-0で行きたかったんで……最初の15分、20分での2点が勝負に分かれ目になりました。ロングボールを前線に放り込んでくる、滝川第二さんの戦い方イメージはしていたのですが、耐えられませんでした。3年間やってきたことを表現したつもりで、自信を持って戦ってくれました。ただ、今日の試合に関しては相手が上回っていたと思います。

今年度のチームの中では決して前評判が高かったわけではなかった。東京都予選では1点差で何とか勝ち上がってきた。それでも全国出場をつかみとれたのは「家族のような」(尾前)チームワークがあったからだ。仲間たちと目標に向かった時間が、これからの人生の糧になることは間違いない。

決して満足のいく内容ではなかったものの、試合後の実践学園の選手たちの表情はどこか清々しいものだった。「悔しかったんですけど、楽しかったです。自分としては全部を出し切れたかな。ずっと『立ち上がりで勝とう』というのは言っていたんですけど、向こうもそこはこだわって3年間やってきたところだと思うので、仕方ないと言えは仕方ないと思っています」



日本、韓国、中国によるサッカーを通じた国際交流の場となっている

サッカーが育む、国を超えた友情 第4回東アジアシニアサッカー大会

日本（東京都）、韓国（ソウル市）、中国（広州市）の3都市のシニアチームによる交流戦「第4回東アジアシニアサッカー大会」が11月28日、東京都・味の素フィールド西が丘、赤羽スポーツの森公園で開催された。優勝はOver40、Over50ともに中国（広州市）のチームだった。

主催：公益財団法人東京都サッカー協会
共催：大韓民国ソウル市蹴球協会、中華人民共和国広州市足球協会
主管：東京都シニアサッカー連盟
日時：2017年11月24日
会場：東京都・味の素フィールド西が丘、赤羽スポーツの森公園

40、50どちらも 広州チームが優勝



Over40の部で優勝した中国の広州太陽神足球队は、元国家代表が11人もいる強豪クラブだ

Over40

東京都シニア大会で優勝してOver40東京代表となったFC青山は2試合ともに1点差負け



11月28日に開催された「第4回東アジアシニアサッカー大会」。試合会場となった味の素フィールド西が丘、赤羽スポーツの森公園は、それぞれの国のプライドを背負った、永遠のサッカー少年の熱気に包まれていた。

日本の東京都、韓国のソウル市、中国の広州市。それぞれの都市を代表するシニアチームによる1年に1回の交流大会は、今年で4回目を迎えた。

40歳以上で構成する「Over40」、50歳以上で構成する「Over50」の2つのカテゴリーに分かれ、それぞれ総当たり戦で順位を決める。ソウル市からはO-40、O-50ともに「ROYAL FC」、広州市は「広州太陽神足球队」と「広州634足球队」、東京都は「FC青山」と「東京ベイFC」の6チームが参加した。

東京都はシニアリーグの全国大会予選で優勝したチームに、今大会の出場権が与えられる。ソウル市は強豪チームが毎年参加し、広州市は選抜チームを編成する。

ソウル市と広州市のメンバーには、元国家代表が何人も含まれている。FC青山（O-40）の野本英男は2チームと戦ってみて「サッカー

をよく知っている。ちゃんと自分のやるべきプレーの判断ができていて、常に落ち着いている」と感じたという。FC青山は2試合ともに1点差で敗れて3位となったが、元国家代表との国際試合は大きな刺激になったことは間違いないだろう。

O-50に出場した東京ベイFCの花井祐人は東アジアシニア大会がプレーをするモチベーションの一つになっているという。「僕たちの世代では韓国や中国の方が日本よりも強かったもので、そういう選手たちと今こうやって真剣に戦えるのはうれしい。来年もまた出られるように頑張っていきたい」と笑顔を浮かべた。

試合の前日には歓迎レセプションが行われ、それぞれのチームのスタッフや、協会関係者がサッカー談義に話を咲かせた。シニアと呼ばれる年代になっても、サッカーを通じて新たな友情が生まれていく。それこそが、東アジアシニアサッカー大会の最大の目的である。その光景は生涯スポーツの見本と言えるようなものだった。

東京都シニアサッカー連盟の曹明委員長は今後の構想を明かす。

「大会としての土台がしっかりしてきたと感じています。将来的にはさらに参加都市を拡大していく予定です。たくさん仲間ができるのが楽しみです」



韓国代表でプレーしたROYAL FC 50のKIM JIN GUKは67歳と思えないプレーを見せた

Over50

Over50の東京都代表、東京ベイFCは最終戦でROYAL FC 50に3-2で勝利を飾った



第4回東アジアシニアサッカー大会 Over40の部

	広州市	ソウル市	東京都	勝	分	負	勝点	得点	失点	得失差	順位
中国（広州市）広州太陽神足球队		△ 0-0	○ 2-1	1	1	0	4	2	1	1	1
韓国（ソウル市）ROYAL FC 40	△ 0-0		○ 1-0	1	1	0	4	1	0	1	2
日本（東京都）FC青山	× 1-2	× 0-1		0	0	2	0	1	3	-2	3

Over50の部

	広州市	ソウル市	東京都	勝	分	負	勝点	得点	失点	得失差	順位
中国（広州市）広州634足球队		○ 3-1	○ 3-2	2	0	0	6	6	3	3	1
韓国（ソウル市）ROYAL FC 50	× 1-3		× 2-3	0	0	2	0	3	6	-3	3
日本（東京都）東京ベイFC	× 2-3	○ 3-2		1	0	2	3	5	5	0	2



INTERVIEW

東京都サッカー協会シニア連盟
委員長
曹明

「最大の目的はサッカーで仲良くなること」

この大会は東京都とソウル市のシニア同士の定期的な交流戦から始まりました。4年前から中国（広州市）も参加して東アジアシニア大会になりました。開催地は3都市が持ち回りで毎年行なっています。最大の目的はサッカーで仲良くなること。最初の頃は、ライバル意識が強く、ラフなプレーも見られましたが、大会を重ねるごとに融和ができていっていると感じています。中国も韓国も国家代表だった選手が何人も入っています。やはり、元代表選手たちは技術も高いし、決定力も素晴らしいかったですね。



これまで3度の全国大会優勝を果たした東京消防庁。東京都社会人リーグにも参戦している
(写真：東京消防庁提供)

TOKYO TEAM REPORT Vol.1

東京消防庁サッカー部

東京都自治体職員サッカー連盟

東京の代表として全国で活躍しているチームを紹介する連載企画がスタート。第1回に登場するのは東京消防庁。全国自治体職員サッカー選手権大会で3度の日本一に輝いたチームは、どのように活動しているのか。井美達也監督、高橋広明元監督にうかがった。

仕事とサッカーの両輪でメリットを生み出す

2018年2月上旬―取材に訪れた日、練習場は閑散としていた。「いつもはもうちょっとと集まるんですけどね。少なくて、すみません。井美達也監督が申し訳なさそうに言った。

紅白戦はおろか、11人にも満たない人数で練習をする姿から、このチームが3度も日本一になったことがあると気づく人はいないだろう。「東京消防庁」。全国自治体職員サッカー選手権大会で3度も優勝した強豪だ。

あまり知られていないが、東京消防庁ではサッカーの部活動が盛んに行われている。50以上の署別のチームが1・2・3部でリーグ戦を行い、年に2回は消防署による対抗戦でナンバーワンを決める。全ての人数を合わせればサッカー部員は1300人ほどになるという。東京消防庁は、各署で活動しているサッカー部の選抜チームだ。

選抜といっても井美監督曰く「来るもの拒まず、去るもの追わず」。サッカー歴がある者がなろうが、参加したいという選手は誰でも受け入れるのがモットーだ。練習は平日の昼間に週2・3回。消防士の勤務体系は24時間の交代制なので、ほとんどの選手が夜勤明けでやってくる。そのため、このように極端に集まりが悪い日もある。

井美監督は消防隊員によるチームならではの悩みを明かす。

「今は50人ぐらいが(東京消防庁の選手として)個人登録をしていて、全国大会では25名になります。ただ、25名でもそれぞれの勤務シフトがある



「サッカーも仕事もしっかりやること。それが一番大切なことです」
井美達也監督

「サッカー以外にも情報交換できる貴重な場と なっています」
高橋広明元監督



ので、大会期間中も同じメンバーではできない。コンビネーションを構築しづらいのは悩みです」1970年に同好会としてスタートした東京消防庁にとってターニングポイントになったのは、1990年に初めて全国自治体職員サッカー選手権大会に出場を果たしたことがあった。当時のチームを率いていた高橋広明元監督が明かす。「最初の頃は全国大会では1回戦負けが続きました。ただ、高校や大学でサッカーをやっていた選手が入ってきて、全国大会で勝つという強い気持ちが生まりました。練習に集まる人数も多くなって、練習の質も高くなっていました」東京消防庁が初の日本一を達成したのは初出場から15年後の2005年大会だった。それ以降、2009年、2013年と優勝するなど、自治体サッカー界では強豪の地位を確立している。チームの強みは、仕事で求められるものと重なる。「仕事柄、体力がなければ火災現場で救助活動はできませんし、現場ではチームワークが必要不可欠です。体力とチームワークには自信を持っています」(井美監督)

ただ、井美監督によればサッカーのプレー以上に大事にしているものがあるという。「仕事も一生懸命やった中でサッカーがあるんだよ」というのはずっと言っています。自分の仕事場で人の嫌がることをなんでもやって、頑張っでこいよって送り出してもらえなきゃですから」高橋元監督も、その言葉にうなずく。

「仕事と密接に関係しているのが、このチームの特徴です。サッカーをしに来て、情報交換ができるので、こういう救助があったよとか、職場とは違うコミュニティがあるのは良いことだと思います」

東京消防庁は、全国や関東の消防職員との交流と情報交換の場として、関東消防職員サッカー選手権大会や全国消防職員親善サッカー大会を主体となつて開催している。これは地方の消防事情を知ることや職務に反映させることも目的だという。仕事とサッカーの両輪で、どちらにもメリットを生み出す。それこそが、東京消防庁というチームのフィロソフィーとなっている。

> Pick Up Player <



東京消防庁
MF 5
小泉訓

「サッカー部のおかげで仕事がしやすくなっている」

前橋育英高校から鹿屋体育大学に進み、卒業後はJリーグの徳島ヴォルティスで2年間プレーしました。徳島を契約満了になった後、これから何をしようかと思った時に見つけたのが「消防士募集」のポスター。それから1日12時間ぐらいの猛勉強をして、無事に合格することができました。

消防士は24時間勤務なので、練習に参加するのは基本的に非番の日になります。朝まで仕事をし、そのままグラウンドに向かうことも。サッカーと仕事の両立は体力的には非常にハードですけど、純粋にサッカーが好きですから。これがないと人生のメリハリがなくなってしまう。

私自身は2013年に全国自治体職員選手権大会で優勝を経験しましたが、また日本一になることが目標です。私たちの立場から東京のサッカーを盛り上げていけたらと思っています。

TEAM PROFILE

- 【正式名称】 東京消防庁サッカー部会
- 【創設】 1970年
- 【部員数】 約50人
- 【監督】 井美達也
- 【主将】 小泉訓
- 【所属リーグ】 東京都社会人サッカーリーグ
- 【所属連盟】 東京都自治体職員サッカー連盟
- 【主な実績】 全国自治体職員サッカー選手権大会優勝(2005、2009、2013)

「連盟ニュース」では各連盟の大会結果・取り組みなどを4連盟ずつ紹介します。次号（18年10月発行）では、社会人連盟、大学連盟、シニア連盟、専門学校連盟を掲載予定です。

昨年12月、「平成29年度 第61回東京都サッカー新人大会」が行われました。結果は、優勝：品川区立荏原第一中学校、準優勝：修徳中学校、第三位：多摩大学目黒中学校、武蔵高等学校中学校となっています。近年、東京都の大会で上位に入ってくる学校の多くが私立です。その要因としてはTリーグをはじめとするリーグ戦への参加や、サッカー経験を持った指導者がいることなどが挙げられます。今回、優勝した品川区立荏原第一中学校は公立でありながらもTリーグに参加し、積極的に高いレベルの試合を経験していました。そうしたことが実を結んだと言えるでしょう。ただし、実際には私立と公立の差は開いているのが実情です。

そのような開きを埋めるための試みの一つが「中学生交流リーグ」です。1月から5月のゴールデンウィーク期間まで行われるリーグ戦には、公立・私立中学校併せて約200チーム参加しています。全都にまたがって試合をするリーグと、隣接する地域での試合をするリーグとがあり、各学校が希望するリーグに参加できます。参加費は1チーム500円に抑えて、1人審判性などローカルルールを導入することでハードルを下げて、1校でも多くの学校に参加してもらおうという仕組みです。

今後、中体連として取り組んでいきたいと考えているのが指導者の育成です。クラブなども充実してきていますが、サッカーをやっている数で圧倒的に多いのは部活動です。日本サッカー協会の公認ライセンスを持った指導者のいる学校は140校ほどですが、より質の高い指導を行なっていけるように、指導者ライセンスの取得を積極的に促していきます。

また、海外遠征も計画中です。当連盟としては、中学校カテゴリーの環境の充実に取り組み、東京都ひいては日本のサッカーの発展に貢献していければと考えています。

当連盟はフットサル登録で1種、2種、3種、女子の全てのカテゴリーを取りまとめおり、各カテゴリーのリーグ戦を中心に活動を行っています。2016年度からU-18、U-15のリーグ戦も取り入れて活動しており、2017年度までの登録数は、1種127チーム、2種26チーム、3種23チーム、女子35チームの計211チームです。

リーグ戦以外でも全日本フットサル選手権、女子フットサル大会、大学フットサル選手権などの予選運営、それ以外でも東京都で選抜されたチームも各カテゴリーで活動を行っております。

昨年、9月16日～9月18日、高知県・春野総合運動公園で開催された「第33回全国フットサル選抜大会」には、東京都で活動しているFリーグ以外のチームから選ばれた男子選抜が参加しました。同年5月に行われた関東予選において地域第一代表となり、本大会に進むことができました。大会期間中に台風が上陸し、予選リーグが短縮される中、準決勝で静岡県選抜と対戦、1-2で敗戦し3位という結果になりました。

女子選抜に関しては3月16日～18日に駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場で開催される「第10回全国女子選抜フットサル大会」に開催地代表枠として参加。U-18東京都代表は3月23日～25日に、和歌山ビッグホエール（和歌山県和歌山市）で開催される「ユースフットサル選抜トーナメント2018」、U-23東京都代表は3月16日～18日に長野県にて開催される「長野オープンU-23選抜フットサル大会」へ参加します。

また、3月2日から開催される「第23回全日本フットサル選手権」には東京都から5チームが出場致します。各カテゴリーが参加する大会が例年増えているという状況です。

東京都中学校体育連盟 サッカー専門部

部長
金子哲郎



新人大会で優勝した品川区立荏原第一中学校



新人大会で準優勝した修徳中学校

東京都 フットサル連盟

広報
鶴岡洋祐



昨年行われた第33回全国フットサル選抜大会に出場した東京都選抜。最終結果は3位



近年女子サッカーへの注目が高まる中、東京都女子サッカー連盟では、さらなる女子サッカーの普及に取り組んでいます。

その活動は、U-15、高校、クラブユース、一般、レディースと幅広く、また、さまざまな環境の中でサッカーを意欲的かつ継続的に続けられるよう、連盟一同、尽力をしております。

昨年、開催された「全国レディースサッカー大会」では、東京都代表の小平SCが東京都予選、関東予選と勝ち抜き全国大会での決勝進出を果たしましたが、接戦の中惜しくも敗れ、準優勝となりました。

「第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会」では、東京都予選を勝ち抜いた日体大FIELD横浜サテライトBは、関東予選を勝ち抜いて全国大会へ出場しました。

2017年度の東京都女子サッカーリーグも1部から5部、高校リーグも1部から4部、中学リーグも1部から5部と多くのチームが参加して行われました。無事に全試合を終えることができ、2月に全てのリーグカテゴリーの表彰式を行います。

また、2016年度に東京都サッカー協会70周年記念事業として実施いたしましたドイツ遠征を機に、国際交流事業にも継続的に取り組みを進めてまいります。

今年度は、3月26日から30日、4泊5日のスケジュールで台湾遠征を計画しています。この遠征には、女子U-14、13、合計23名の選手が参加します。台北、台中、嘉義にて、高校中学女子チームや木欄（ムーラン）リーグ所属チームとも交流試合を行い、国際交流を深めてまいります。

東京都女子サッカー連盟

広報
横田景子



国際交流事業にも継続的に取り組んでいく（写真は2016年度のドイツ遠征時のもの）

東京都少年サッカー連盟は、日本サッカー協会の登録チーム数は806チーム、登録選手数は約3万9000名となっています。当連盟では、年間行事として6年生から4年生までの各種大会・リーグを開催、派遣事業として、海外・全国・関東に東京都の代表チームを派遣しています。

新規事業として、東京都サッカー協会のご協力をいただき、U-11女子対象の「東京FA会長杯」、新たなご後援をいただき「3年生交流大会」、各ブロックで開催していたU-7～U-9対象の「ブロックフェスティバル」を1年に1回から2回に増し、キッズ年代からU-7～U-9年代へのスムーズな移行に取り組んでいます。また、各大学のご協力で、指導者や父母に向けた医事講習会（国士館大学）、食育セミナー（大妻女子大学）を開催しました。

日本サッカー協会が2015年6月に導入した「ウエルフェアオフィサー制度」を受け、東京都サッカー協会の指導のもと、全日本少年サッカー大会の東京都大会や主要大会に「マッチ・ウエルフェアオフィサー」を設置し、リスペクトやフェアプレーの啓発、普及に着手しました。また、年度末には「マッチ・ウエルフェアオフィサー」の更新や、新規認定講習会を実施、多くの方々に理解や協力を求めました。

少子化が加速し学童の減少と同じように2015年から登録選手数は減少を続けましたが、上記の新規事業、既存事業の再検討などの成果として登録選手数の増加が実現しました。

今後の課題としては、天候に左右されないグラウンドの確保、指導者の質の向上、土曜日授業の問題、ユース・女性審判員の育成、女子選手の育成など多くありますが、当連盟役員、各ブロック役員、加盟チーム関係者と情報を共有して、「前進する東京都少年サッカー連盟」「安心、安全な大会運営」を目指していきます。

東京都少年サッカー連盟

第4種委員長
吉實雄二



U-7～U-9年代の「ブロックフェスティバル」を開催



「マッチ・ウエルフェアオフィサー」を設置し、リスペクトやフェアプレーの啓発、普及を行なっている

フットサル委員会 円滑な大会運営のために

フットサル委員会の管轄は、1種から4種そして女子まで、カテゴリーは多岐にわたり、年間を通じて多くの事業を受け持っております。各大会の運営には、会場設営から大会運営における人材確保が不可欠となります。

以前は、大会開催の度に、委員会内の大会担当者が人材を確保していました。しかし、大会毎に集められたスタッフは、経験や理解不足から競技会会場で様々なトラブルに直面していました。これらのトラブルは、経験豊富なスタッフであれば発生しなかったケースでもあり、大会当日は、大会運営をしながらの実務指導となり、十分な指示が行えない状態が続いていました。

そのような中、2005年から委員会内の専門的セクションとして大会運営に特化した「運営部会」を設置し、当協会主催・主管各種フットサル大会へ運営スタッフが派遣され、現在多くの大会の場で活躍をしています。

Fリーグが開幕して10年が過ぎ、東京都内の各種大会やリーグ戦も今まで以上に開催数も多くなり、各大会を開催するには、最も重要な役割を担っております。

制度が発足してから12年を経過し、当日の人材確保だけでなく、さらに登録されたスタッフの中から経験を積んだメンバーの方々にマネージャー資格を付与し、当日の活動は勿論のこと、メンバー間のコミュニケーション等、運営部会の活動に積極的に携わっていただくこととしました。

今後の課題は、「人材確保」及び「専門知識の教育」と考えます。

人材確保

「運営スタッフ登録制度」を開始し、年度単位で活動していただけるスタッフを公募し、個人に頼らない人材確保のネットワーク作りを目指してまいりました。さらに拡大・充実し、より安定した人材確保のネットワーク作りを目指しております。

専門知識の教育

大会運営・会場設営に必要な知識をより専門的に指導し、学び合う場として「運営スタッフ研修会」を開催しております。既に第1回を開催し、年間を通じて、計画的に実施します。

講習会のテーマ

ピッチ作成(ライン)／マーク作成と備品について／タイマーと得点盤の配線と使い方／ボールパーソンと担架要員について／試合記録について

講習会では、講義だけでなく演習も行い、運営スタッフの日頃の活動の確認をし、実践へ結び付けています。

また、運営スタッフに、委員会主催のスポーツセーフティ講習会の受講を推奨しており、大会運営に受講者を1名以上派遣し、安心・安全な大会運営ができるようにも努めています。

運営部会では、フットサル大会を運営してきたノウハウを元に、日々の活動に活用できるように専門的な内容を記載した「ハンドブック」も作成し、運営のスペシャリストとして円滑な運営が果たされております。

公益財団法人東京都サッカー協会
フットサル委員長 松村栄寿

AFTER THE MATCH 瓜田に履を納れず

「瓜田に履を納れず 李下に冠を正さず」(かでんに、くつをいれずりに、かんむりをたださず)これは、中国漢の時代の諺で、君子の行いについて述べたものです。

瓜(ウリ)畑で履(くつ)を履きなおしたりすれば、瓜盗人と思われるし、たわなに実った李(スモモ)の木の下で冠を直せば、李盗人と思われるでしょう。優れた人は禍を未然に防ぎ、他人から疑いをかけられる行為は慎まなければならないという意味です。

このことわざが意味するところは、今のサッカーチームや選手にも、そのまま当てはまるかもしれません。

サッカーに限らずスポーツをする場面では、選手は、ルールを守り、公正に振舞うこと、審判や対戦相手を尊重し、周囲の人々に感謝すること、すなわちフェアプレーとリスペクトの精神が求められます。

「試合の後の日本チームの更衣室はとてもきれいだった」「日本のサポーターは、試合に負けた後もスタンドをきれいに掃除していた」など海外での日本の選手やサポーターのマナーの良さが報道されるたびに誇らしくも嬉しくもなります。

この1月に東京に何年かぶりの大雪が降った時、ある高校のサッカー部員が学校周辺の雪かきを行い、地域の人たちから大変感謝されていたという報告がありました。

こんな話を聞くと、この場で表彰したい気持ちになります。

試合場面でのマナーやリスペクトの精神については東京FAの各カ

テゴリーにおいては、とてもよい状態で行われていると感じています。また、競技場の更衣室やスタンドの使い方にしてもきれいにきちんと使われるようになっていきます。

さてところで、皆さんの「試合会場への行き帰り」や「電車やバスの中」でのマナーはどうでしょうか。一度振り返ってみてください。

多くの中・高生のチームは、試合に行く時、会場の近くの駅に集合し、集団で競技場に向かいます。

- ・駅に集合するとき、一般の乗降客に迷惑がかからないように通路を空けていますか？
- ・集団で道を歩くとき地域の人々に迷惑をかけないようにしていますか？
- ・飲み食いしながら歩いたり、ごみのポイ捨てなどしていませんか？
- ・混雑した電車やバスの中で足元にバッグなどを置いて他の乗客の迷惑になっていませんか？

自分たちでは悪気がないつもり行為でも、周りの人々からすると、とても迷惑に感じることもあるものです。その時、選手たちがチーム名の入ったジャージを着て、チームのバッグを持っていれば批判の対象は個人だけでなく学校やクラブにも向かうことになり、やがて私たちにも聞こえてくることになります。

東京FAでは、芝のサッカー場を作ることを最優先事項として施設不足の解消に努めています。

そしてサッカー場を使うときには、その地域周辺に対するリスペクト(配慮)が必ず必要になります。くれぐれも、サッカーシューズはピッチの上で履き、瓜田では履かないようにしたいものです。

公益財団法人東京都サッカー協会
会長 上野二三一

朝日新聞は2017年度 大学入試出題数 No.1

新聞を
読む習慣が
「知の足腰」を
強くする。



朝日新聞 入試

検索

朝日新聞

※ 大学通信調べ 2017年5月30日現在
全国の大学にアンケート調査。対象は読売新聞(YOMIURI ONLINE)、
朝日新聞(朝日新聞デジタル)、毎日新聞(デジタル毎日)、
日本経済新聞(日経電子版)、産経新聞(産経ニュース)。回答数750。

B&D
SOCCER PRO SHOP

超専門店 宣言

B&D は競技者のパフォーマンスを上げることを誓います。

すべてはスポーツマンのために
B&Dでは、スポーツ用品専門店として
競技者のパフォーマンスを向上させるため
プロフェッショナルなサービスを提供しています。

Special Area ～スペシャルエリア～

NIKE FOOTBALL CORNER

都内でも数少ない大人気「NIKE」の売場を限定店で展開!
「NIKE」の世界観を演出した売場は店内でもひととき異彩を放つ!



adidas FOOTBALL CORNER

「adidas」の世界観を演出した売場を限定店で展開!端から端まで見渡す限り「adidas」の売場は必見。



Soft Service ～ソフトサービス～

無料 足型測定会 開催中!!

足型測定会

専用の計測機であなたの足を詳しく分析・診断いたします!足の形だけでなく、状態やクセを細かくチェック!最適なシューズ選びをサポートします!

FootLook 足裏測定システム
～フットルック～

足裏の圧力分布 足裏の接地面積
重心位置 足長 足幅 指の角度

計測機に乗るだけで同時計測!!

たった5分でできる足型診断

STEP 1 FootLookを使って個別に足を計測

STEP 2 測定結果をもとにアドバイス

STEP 3 お客様の足に合ったシューズをご提案

3D 足型計測装置 FOOT Scanning System

足長 足高 足幅 アーチ高 かかと幅 かかどの角度

計測装置に足を入れるだけで同時計測!!

しっかりとフィットするシューズを選ぶためにはまず自分の足をよく知る。計測マシンを使ってあなたの足を正確にお手直しします。

たった5分でできる足型診断

STEP 1 3次元足形計測機により個別に足を計測

STEP 2 計測結果をもとにアドバイス

STEP 3 お客様の足に合ったシューズをご提案

測定
無料

ご予約は
こちらから



カスタムバランス

専用機器で足の状態を測定、わずか10分であなただけのカスタムメイドインソールを作成!足本来の機能を促すと共に、正しい身体のバランスへ導きます!

- 今なら
- ①インソールがご自分に合わない場合はその場でキャンセルOK!
 - ②ご購入後ご満足頂けない場合、ご購入から30日間返品・返金保障!



スポーツシューフィッター

一般社団法人「日本フットウェア技術協会」が認定する「シューズ」と「足」と「インソール」のスペシャリストが在籍。お客様に最適な1足を選びます。



レーザー加工シューズマーキング

レーザー加工機で、お買い上げのシューズ(革製品)にお好きな文字を加工します!(有料)世界で1足のオリジナルシューズをつくらう!



無料シューズマーキング

お買い上げのシューズ(革製品)にお好きな番号またはアルファベットを2文字圧着加工します!世界で1足のオリジナルシューズをつくらう!



ウェアマーキング

チームユニフォームやレブリカシャツに好きなマークを圧着加工します!(有料)



ボールマーキング

お買い上げのボールにお好きな番号や文字を圧着加工します!(有料)世界で一つだけのオリジナルボールをつくらう!



B&D
SPORTS PRO SHOP

「NIKE FOOTBALL CORNER」、「adidas FOOTBALL CORNER」の設置店舗、および、各サービスの実施店舗は店舗によって異なります。お近くの店舗にご来店の際は、B&Dホームページよりご確認頂いてからご来店をお願い致します。

B&D公式ホームページ
<https://www.bnd.co.jp/>



会員登録

B&D MOBILE
会員募集中!

会員登録無料!!

メルマガ
メルマガ登録でお得な情報をGET!!

メルマガで登録する!!

QRコード

会員登録するクーポンやメールマガジン、最新商品情報などお得な情報が届きます!!

LINE@
友だち登録でお得な情報をGET!!

友だち追加!!

QRコード

会員登録するクーポンやメールマガジン、最新商品情報などお得な情報が届きます!!

ONLINE STORE

サッカーとあなたを繋ぐサッカー用品専門サイト

B&D
SOCCER PRO SHOP

Football
Connect



ピーアンドディー
フットボールコネク
直営通販サイト

<https://football.bnd.co.jp/>

